

# 我夢中人

～ Ware Muchujin ～

Vol. 227



## ジャズと医学の不思議なつながり

伊藤美奈子

横浜市立みなと赤十字病院 健診センター長



リニューアルオープンした横浜関内の老舗ジャズライブレストラン「Bar Bar Bar」で、2024年7月21日、ライブを行いました。  
ピアノ Ake Kubotaさん、ベース 仲石裕介さん、クラリネット 宮脇 惇さん



リハーサルは約1時間、音合わせをすべく本番に臨みます。



旧「Bar Bar Bar」の建物と看板は、ジャズ発祥の地である横浜のシンボルでした。

今、モルディブのダイビングクルーズ船上でこの原稿を書いています。Maldivian Stars Diving Centerにお世話になっています。今回も最終日のディナーで「Minako Jazz Live」を行いました。

### ジャズ界デビューの契機

私の医師としての専門は、消化器内視鏡と予防医学です。上部・下部消化管内視鏡で病変を早期発見したり、市民セミナー開催や予防がテーマの執筆などの啓発活動や学術研究に尽力したりする傍ら、2020年にジャズを始め、2021年ジャズ界にデビューしました。

ジャズを始めた契機は、家族に費やしていた時間が自由になり、その時間を有効活用したいと考えたことです。それまでの趣味は、テニス、岩盤ヨガ、スキューバダイビングなど、自宅でできない趣味ばかりでした。ちょうどコロナ禍初期であったことも重なり、自宅でできる趣味は、と考えた時に思い付いたのが音楽でした。

### ジャズボーカルへの道

小学4年生からピアノを習い、同時期から小学校の合唱団で平日は毎日歌っていましたが、本格的に音楽を学んだことはありませんでした。医学部入学直後、仲間とカラオケに行った時、私の歌声を聞いた先輩が「うちのバンドボーカルをやりませんか」と声をかけてくださいました。そのバンドはジャズではなかったと記憶しています。その頃は、人前で話したり歌ったりすることが苦手で、私には無理だと思いお断りしました。しかし、プロのコンサートを鑑賞していると、たまにその時の先輩の言葉が頭をよぎり、挑戦しなかったことに悔いを感じていました。

そこで2020年、ボーカルとしてライブで歌いたい、という思いから歌を始めることにしました。次に、どのジャンルにするかを考えました。私の生活の基盤が、有名な老舗のジャズライブハウスがたくさんある横浜ですし、ジャズをやっています、と言うと格好良く聞こえるかも、という浮ついた気持ちもあって、ジャズにしました。ジャズが好きだからという理由でもなく、ジャズを聴いて育ったわけでもなく、ジャズの知識がほとんどないまま始めたので、今も勉強の毎日です。

### ジャズボーカルの活動開始

コロナ禍は、ジャズのレッスンを受けられない期間がありましたが、始めて1年たった頃、ジャズボーカルの依頼が来ました。2021年11月、横浜 Jazz 協会主催のライブが、関内にある老舗ジャズライブレストラン「Bar Bar Bar」で開催され、初めてお客さまに歌を披露しました。私のライブは、心身を癒やし健やかにしてくれる音楽と健康講話がセットになっています。この時の講話は、昔のミュージシャンには珍しくない依存症についてでした。余裕がなく素人感満載の私を、お客さまは家族や友人のよう



お客様からいただいたソープフラワーブーケをステージに飾り、華やいだ雰囲気に包まれました。



2023年4月16日に、関内ホール大ホールで、「Jazzを聴きながら認知症に向き合う」というコンサートを行い、司会とボーカルを担当しました。ピアノ 田中和音さん、ベース 桐沢輝さん、ドラム 竹内武さん



2022年11月27日、JAZZ SPOT DOLPHYでライブを行いました。  
ピアノ 若林 稔さん  
ベース 江上友彦さん  
ドラム 矢藤健一郎さん  
クラリネット 宮脇 惇さん



2023年2月23日、JAZZ SPOT DOLPHYでベースデーライブを行いました。ピアノはDOLPHY経営者のご子息である小室 響さん  
ベース 坂井紅介さん  
ギター 荻原 亮さん  
パーカッション 相川 瞳さん



19回目のモルディブ。ラストディナーでジャズの歌を同じ船のお客さまに披露しました。



介護施設でのジャズライブ。初めて生演奏を聴く人もいて大変喜んでいただきました。



横濱中華学院の中高校生を対象とした健康講和で、ジャズの歌もプレゼントしました。学生の皆さま、とても真剣に聴いていただきました。

に温かく見守っていただきました。私の夢の一つがかなった瞬間でした。

ヒトは欲張りな生き物です。その後、もっと大勢の人たちに私の歌と健康講話を聴いてほしいと切に思い、ライブハウスだけでなく、コンサートホールやホテル、介護施設、学校などで、脳に響く音楽と医学の融合イベントを不定期に開催しています。

### ジャズの恩恵

ジャズを始めて気付いたことがあります。それは「物事には共通点があり、つながっている」ということです。例えば、ジャズと医学には共通点があります。ジャズは音楽の方程式では解けない無限大の音楽、医学はヒトというブラックボックスで起こる事象を解明しきれない学問です。また、合唱団だった時の担当の先生が、頭の上から糸でつるされているような意識を持って歌いなさい、とよくおっしゃっていました。小学生の時に習っていたクラシックバレエの先生も、頭の上から糸でつるされているような姿勢で踊りなさい、と。今でも、歌の先生や岩盤ヨガの先生からも同じことを言われます。ヨガの腹式呼吸は発声の基本ですし、ヨガでほぐされる体とヨガで身に付く心身のバランスは、私の大好きなテニスはもちろん、仕事や日常生活でも役立っています。「豊かできらめく毎日」を

ジャズはミュージシャンによって演奏が異なる「ゆらぎ」の音楽、そして、全く同じ2人は存在しない唯一無二のヒトを対象とする医学は「ゆらぎ」の学問、このような果てのない神秘的なジャズと医学に出会えたこと、これらを調和して活動できてい

ることに心より感謝しています。私の使命は、皆さまが「豊かできらめく毎日」を送れるようにお手伝いすることです。その願いが通じて、神奈川県 ME-BYO スタイルアンバサダーに就任いたしました。この先も、できるだけ長く情熱的にこのような活動を続けていきたいと思っています。

最後に、私が人生で初めて作詞作曲して、2024年10月からウェブ配信している歌『つむぐ』を紹介させていただきます。この曲のテーマは「健康・元気」です。離れていてなかなか会えない人や、もう会えなくなった人に思いをはせながら作りました。もし興味がありましたら聴いてみてください。また、SNSに私の活動内容を投稿していますので、こちらも興味がありましたら閲覧してみてください。「健康」は、かけがえのない人への思いやりです。皆さまの心と体が健やかで、大切なご家族やご友人と笑顔で楽しい時間を長く共有でき、豊かできらめく毎日を過ごせますよう、願いながら筆を置きます。



※写真は、執筆者の許可のもと掲載しています。